

まつどミュージアム

No. 7 1999年(平成11年)3月

■松戸の貝塚案内■

下総台地の西端に位置する松戸市域の台地上には135ヶ所の縄文時代の遺跡が確認されており、そのうち61遺跡に貝塚がともなっていました。そのうち10遺跡を紹介します。

ニツ木向台遺跡 (松戸市ニツ木向台)

縄文時代早期末から前期(約6000年前)に営まれたこの遺跡は現在ニツ木藤羽鷹神社境内にのみ残されています。貝塚は台地北斜面にあり、ニツ木式土器と呼ばれる縄文土器をはじめ石器・骨角器などが出土しています。

幸田貝塚 (松戸市幸田2丁目)

縄文時代前期に営まれた大集落遺跡で、当時の集落の内容が明らかにされた重要な遺跡です。その価値が認められ、平成6年に出土品266点が一括して国の重要文化財に指定されています。下総台地西端に位置する遺跡は、東西180m×南北250mの範囲に貝塚が馬蹄形状にめぐり、154軒の住居跡が検出されています。

東平賀遺跡 (松戸市東平賀字大門前)

縄文時代前期から中期(約5000年前)に営まれた径約160m×130mを計る市内最大の環状貝塚であり、その全貌をとどめる数少ない貴重な遺跡です。10次にわたる調査の結果、縄文土器の他に鹿角製腰飾・鯨骨製斧・土器片鏟や人骨・犬骨・イノシシ骨などの埋葬骨が出土しました。

障ヶ丘遺跡 (松戸市松戸字貝台)

縄文時代後期(約4000年前)に営まれた東西約70mの馬蹄形の貝塚です。多くはハマグリを主体とする貝層でしたが、大規模な宅地造成により遺跡は消滅しました。

殿平賀遺跡 (松戸市殿平賀字五郎兵衛敷台)

縄文時代後期に営まれた東西径約90mの馬蹄形貝塚です。竪穴住居跡・土坑・炉跡などが検出され、とくに住居跡内の墓坑の小児埋葬は研究者の注目を集めました。調査後、学校建設用地になり遺跡の大部分が消滅しました。

上本郷遺跡 (松戸市上本郷字北台ほか)

縄文時代前期から後期に営まれた二つの環状貝塚が東西に並行する遺跡です。昭和3年以来学界に注目され9地点で調査が行われた結果、竪穴住居跡・土器・石器・骨角製品などが出土しています。遺跡の現状は失われほんの一部を残すのみです。

子と清水貝塚 (松戸市日暮6丁目ほか)

縄文時代中期に営まれた現東京湾に開口する谷奥に位置する大集落遺跡です。約200m×150mの範囲に278軒の竪穴住居跡と1044基の土坑が環状にめぐり、中央部に構築物を思わせる小ピット列が検出されました。貝塚のほとんどは住居跡・土坑内に堆積した小規模なものでした。

一の谷西遺跡 (松戸市高塚新田字一の谷西)

縄文時代中・後期に営まれた環状貝塚と考えられています。小規模な貝層をともなった土坑が複数出土しており、また柄鏡形住居にともなって石棒が出土しています。

河原塚遺跡 (松戸市紙数字金輪台)

縄文時代後期に営まれた台地上に位置する馬蹄形貝塚です。住居跡・炉跡などが検出され、小形磨製石斧を内蔵した土器が出土しています。後の時代に貝塚の上に直接古墳が造られています。

貝の花貝塚 (松戸市小金原8丁目)

縄文時代中期から晩期(約3000年前)に営まれた奥東京湾東岸の谷奥部の台地上に位置する径約70～80mの馬蹄形貝塚です。調査の結果、長い時間をかけて馬蹄形貝塚が形成されていく過程が明らかにされました。土器・石斧・石皿など多くの生活用具の他に30数体の埋葬人骨や犬・イノシシの埋葬骨も発見されています。



貝塚を考える

松戸市内には、今から何千年も前の縄文時代につくられた貝塚が6ヶ所も残されていました。しかし、急激な都市化の中で、かつての面影をとどめる貝塚は数少なくなりつつあります。このような変貌の中で、松戸地域の歴史的環境を特徴づけてきた貝塚について、あらためて考える機会として本特別展を開催しました。市内だけでなく、北海道・本州・九州・沖縄、そして台湾・フィリピンの貝塚も見ながら、先人が残した貝塚とはいったい何だったのかについて考えてみます。

■会期：平成11年3月27日(土)～5月16日(日)

■会場：松戸市立博物館企画展示室

■展示内容（展示資料点数：約470点）

貝塚の出現 今から約1万年前、氷河期が終わり気候が温暖化していくとともに海水準が上昇し、海岸線の周囲に干潟が発達します。人類はそこに棲息する食糧資源を積極的に利用するようになり、その結果として貝塚が形成されるようになりました。

会場では、約9000年前に形成された千葉県佐原市宮崎貝塚と約5000年前に形成された千葉市有吉北貝塚の貝層の実物標本を展示しています。

貝塚はどのようにつくられたのか 貝塚には、それを形成した人々の活動を反映して、さまざまな形が見られます。遺跡内の旧地表面や斜面に形成される面状貝塚、住居跡に形成される地点貝塚がありますが、それぞれにまたいくつかのパターンに分かれます。展示では前者の例として千葉市有吉北貝塚、後者の例として松戸市幸田貝塚を紹介しています。

また、ゴミ捨て場としての貝塚、儀礼をおこなう聖なる場としての貝塚、貝加工の多量な生産活動に

ともなう貝塚など、それぞれ性格を異にした形成のされかたが考えられます。

松戸の貝塚 下総台地の西端に位置する松戸の台地では縄文時代の早期末から貝塚がつくられますが、本格的に貝塚形成が始まるのは、奥東京湾の海岸線がもっとも拡大する6500年前から5300年前ころです。貝塚からは、ハマグリ・ハイガイ・サルボウ・アカニシなどの砂泥地に棲息する貝や、コチ・スズキ・ボラなどの内湾沿岸に棲息する魚の骨が多く出土します。出土する漁具から、波静かな入江での網漁が主流であったことがわかります。

貝塚から出土する生活用具全体から見ると、当時の人々の定住生活を支えていたのはクルミ・クリ・ドングリなどの植物質食料であり、狩猟や漁撈への依存度はムラのおかれていた環境によって微妙な違いが見られます。

展示では、二ツ木向台遺跡・幸田貝塚をはじめ1頁に掲げた10遺跡の出土品を紹介しています。



二ツ木向台遺跡出土土器（国立科学博物館蔵）



幸田貝塚の貝層地層状況

日本列島および周辺の貝塚 日本全国には1500を上回る縄文時代の貝塚が確認されていますが、多くは太平洋岸に分布しており、地域別では関東地方にその約3分の2が集中しています。ひとくちに貝塚といってもおかれた環境の違いによってさまざまな特徴を見せます。展示では、国内の例として北海道礼文町浜中2遺跡・釧路市東釧路貝塚・岩手県陸前高田市中沢貝塚・滋賀県大津市栗津湖底遺跡第3貝塚・鹿児島県鹿児島市草野貝塚・沖縄県と那覇市シヌグ堂遺跡・竹富町下田原貝塚、周辺地域の例としてフィリピンソン島マガビット貝塚・台湾台北市圓山貝塚を紹介しています。

平成10年度の活動より

幸田の縄文土器、フランスで初公開

市内の幸田貝塚出土の深鉢形縄文土器が、フランス・パリで開催された「縄文展」(平成10年9月29日～11月28日主催文化庁等)に出品されました。

この土器は、高さ29cm、口径27.5cm、波形の口縁部の1ヶ所に片口をもつ約6000年前縄文時代前期後半の岡山式土器で、重要文化財に指定されたもの。木の葉のあく抜きや煮炊きに使われたものと考えられますが、実用性の他造形的にも優れ、芸術品としての完成度も高いとして出品が決まりました。松戸の土器が海外で公開されるのはこれが初めて。昨年9月、当館でお披露目展示をした後、全国から選定された縄文土器や土質、装身具等111点とともに、日本の縄文文化の神髄を伝えるべくパリへと旅立ったが、果たしてフランス人たちの目にはどう映ったのでしょうか。



▲「縄文展」に出品された深鉢形縄文土器

なお、パリでの公開を終えた本土館は無事帰国。ただいま当館で開催中の特別展「貝塚を考える」で展示しています。

江戸時代の旅姿になった気分は…?

平成10年度の企画展「水戸道中 宿場と旅人」開催にちなみ、江戸時代の旅装束を試着する催しを開いたところ大変好評で、企画展終了後も引き続き毎月第1日曜日に「江戸時代旅装束試着体験」を行っています。試着アイテムは、男性が三度笠・長着・道中合羽・脚絆・草鞋。女性が菱折笠・長着・浴衣・手巾・脚絆・足袋・草履など、実物から型紙を起こして作成したり、古い宿場町から購入して贈ったもの。親子や夫婦、恋人同士などで試着し、記念写真をパチリ。束の間、江戸時代へのタイムトリップを楽しんでいるようです。



調査報告書がまとまりました

平成2年から5年にかけて、建築学及び建築史学の専門家からなる調査団に委託して行った調査報告書「松戸市旧宿場町建築物調査報告書」がこの度まとまり干行のはこびとなりました。本報告書は、近世以来の町場である松戸・小金両地区に残る古くからの建築物を調査し、分析したもので、時々刻々と変化していく景観を現時点で詳細に記録した貴重な一冊。古い建築物個々の解説や松戸の町並みの移り変わりを伝える絵図や写真等も数多く掲載しました。是非一度手に取って御覧あれ。



▲松戸町ノ景 (明治46年頃)

●アンケートボックスの中の声●

Q: 江戸時代の松戸宿や小金宿を通った大名行列について教えてください。(平成10年度企画展「水戸道中 宿場と旅人」における質問)

A: 大名行列といえば、時代劇でもよく見られる「参勤交代」です。この制度は、将軍が大名に対して原則として国許と江戸とを1年交代で往復させ、大名の妻子は江戸に住むことを義務づけたものです。水戸道中を参勤交代で通行した大名は、市街の下総国、常陸国、さらに水戸から奥州に向かう岩槻街道の周辺に加地があった大名が参勤でした。天明4年(1784)の時点では、下総の小見川藩内田家、常陸の土浦藩土屋家、笠間藩牧野家、谷田部藩細川家、下妻藩井上家、年久保山口家、志筑藩本室家、奥州の相馬藩相馬家、磐城平藩安藤家、京藩本多家、海兵衛藩内藤家。以上11家が参勤交代で松戸宿を通行したと思われます。(『松戸市史』中巻484項)

ここには水戸藩徳川家が除外されています。御三家の水戸藩は足利藩として参勤交代の義務はなく、常時将軍のお膝元の江戸に住むことが義務だったのです。水戸藩の分家である府中藩・穴戸藩の両松平家も定府大名でしたから、参勤交代で



▲「旧藩邸江戸入行列之図」安達光庵 (1889) 複製

水戸道中を通行することはありません。しかし、水戸藩主でも時々水戸城に赴くことがありました。山川菊栄『寛政幕末の水戸藩』によれば「藩主が水戸へ下るときは行列は、家老、お目付け、物頭などの重役から薩兵、荷役の入夫まで加えて約一五〇〇人のお供揃い」だったようです。

なお、仙台藩伊達家、秋田藩佐竹家、弘前藩津軽家などは、参勤交代で臨時に水戸道中を利用したことが分かっています。通常のルートの日光・奥州道中が混雑した場合、幕府の許可をもらって水戸道中を通行したようです。

展示

- ★特別展「貝塚を考える」…3月27日(土)～5月16日(日)
 ★'98ワイルドライフ写真大賞展…5月22日(土)～7月11日(日)
 ★新収蔵資料展「千駄堀土屋家寄贈資料展 着物と夜具」…10月9日(土)～12月12日(日)
 ★巡回展「'99新発見考古速報展」…平成12年1月15日(土)～2月6日(日)
 ★教育展「教科書のなかの道具とくらし」…平成12年2月15日(火)～4月9日(日)

講座

- 松戸地域民俗学講座Ⅰ…5/9～6/20の隔週日曜
 ■紀行文を読む…9/1～10/27の隔週水曜
 ■映像人類学講座…11/7(日)、14(日)、21(日)
 ■考古学講座…2/6～3/19の隔週日曜

古文書講座

- 将門記を読む…4/28(木)、5/13(木)、27(木)、
 6/10(木)、24(木)、7/1(木)、
 7/8(木)、23(木)
 ■古文書を読む〔近世入門編〕…5/8～7/3の隔週土曜
 ■古文書を読む〔近世中級編〕…9/14～11/6の毎週火曜

講演会

- ガンダーラの仏塔を語るⅣ…6/20(日)
 □爬虫両生類講演会…7月開催予定
 □自然史関連講演会…9月開催予定
 □特別講演会…10月開催予定
 □松戸の歴史を語る…11月開催予定
 □'99新発見考古速報展記念講演会…1月開催予定
 □学芸員連続講演会…2/27～3/12の毎週日曜

(※■:連続行事 □:単発行事)

体験学習

- 縄文時代の布を作る…6/5(土)、6(日)、12(土)、
 19(土)、26(土)
 ■縄文土器を作る…11/7(日)、13(土)、14(日)、
 11/21(日)、12/12(日)
 □布を織る…1/18～3/8の毎週火・水曜

小・中学生対象行事

- 古代米を作る…5/9(日)、16(日)、7/4(日)、
 8/8(日)、9/12(日)、19(日)、
 10/3(日)
 ■夏休み体験教室「糸つくり・布つくり」…①7/28(土)～30(日)
 ②8/1(土)～2(日)
 ■夏休み体験教室「土鈴つくり」…8/8(日)、22(日)
 □夏休み夏夜教室「縄文時代のくらし」…8/6(金)
 □1日学芸員…①8/1(日)、②3/26(日)

その他

- 館内公開…①4/4(日)、②12/5(日)
 □映像でみる歴史と文化「大モンゴル」…5/1(土)～5(日)
 □映像でみる昭和の記録…8/6(金)、8(日)、
 15(日)
 *江戸時代旅籠床試着体験…毎月第1日曜
 *ガイドツアー(展示解説)…毎日①10:00～
 ②14:00～

ハイビジョン上映予定

*上映開始時間

平日: ①13:15 ②15:15 (2回)	③15:15
土日祝: ①11:00 (3回)	②13:15 ③15:15

*場所: 講堂

*観覧無料

*都合により予定を変更する場合があります。

月	ハイビジョンのタイトル	上映時間
平成11年 4月	京の国宝 醍醐寺一修験の山に抱かれて	30分
5月	京の国宝 東寺曼陀羅群像	30分
6月	四季・母なるブナの森ー東北・白神山地	45分
7月	生きもの地球紀行 山形県島田山麓ーサカが湧る清流の四季	45分
8月	亜熱帯の島に生命が集うー沖縄・西表島	45分
9月	故宮 至宝が語る中華五千年 第一集 神と共にありー先史・殷・周	60分
10月	故宮 至宝が語る中華五千年 第二集 百家争鳴 乱世に競うー春秋戦国	60分
11月	故宮 至宝が語る中華五千年 第三集 皇帝 天下を制すー秦・漢	60分
12月	故宮 至宝が語る中華五千年 第四集 書聖誕生ー六朝	60分
平成12年 1月	エーゲ海 伝説と歴史の舞台	60分
2月	ベルギー・ブルージュ紀行 中世の町並みをゆく	30分
3月	ベルギー・ブルージュ紀行 中世の栄華 運河たゆたう	30分

上記の行事についてのお問い合わせは ☎047-384-8272 教育普及係まで

利用案内

*開館時間

*休館日

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 月曜日(ただし祝日にあたる時はその翌日)
 館内整理日(毎月第4金曜日)
 休館期間(7月12日～19日)
 年末年始(12月28日～1月4日)

まつどミュージアム No. 7

発行日 1999年(平成11年)3月31日

編集・発行 ©松戸市立博物館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671

☎047-384-8181

*観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	300円	240円
高校生・大学生	150円	100円
小学生・中学生	100円	60円

*小学生未満及び70才以上の方は無料です。

*第2・4土曜日は小学生は無料です。

*企画展・特別展等は観覧料金をいただくことがあります。

*交通

新京成線八柱駅・京武線野新八柱駅下車

新京成バス小金原団地循環行き「公園中央口」

下車徒歩1分